



ニッカン・コム杯

10/12(土) 13(日) 14(月・祝) 15(火) 16(水)

●第1レース・スタート展示 8:15
●第4レース・第7レースは進入固定レース

シリーズリーダー 8



4545 (A1・福岡・36歳) 岡村 慶太
13159 (A1・群馬・59歳) 江口 晃生
3997 (A1・大阪・45歳) 北村 征嗣
4468 (A1・東京・37歳) 大池 佑来
4451 (A1・福岡・36歳) 松崎祐太郎
4960 (A1・愛知・28歳) 黒野 元基
4295 (A1・兵庫・38歳) 小坂 尚哉
4702 (A1・東京・37歳) 三浦 敬太

出場予定選手

(全国6ヵ月: 2024年3月6日~9月5日 / 芦屋3年: 2021年9月6日~2024年9月5日。■は福岡支部選手)

衰えを感じさせない江口!

江口晃生(群馬)は近況も高勝率を維持と衰えとは無縁で、今年は上半期だけでV3を挙げる。当地前回は8戦7勝の活躍でファイナルの1枠を獲得したが、無念の優出2着。ここはその時のリベンジであり、今度こそ勝ち切る。

小坂尚哉(兵庫)は前回8月戦は準優2着で突破を果たすも、優勝戦は中止打ち切りに。消化不良だっただけに、その分まで奮起する。

その2人をよそに当地連続Vを狙うのが北村征嗣(大阪)だ。今期も各地で好走しており、22期連続A1級キープへ当確ランプを点す。

安定感はトップの大池!

大池佑来(東京)は前回周年は予選敗退に終わったが、一般戦ではVを含む2連続優出中。4月児島周年、5月平和島GII優出と、安定感が出場メンバーの中でもトップレベルだ。

着実に地力を強化する若手の黒野元基(愛知)や、波はあるが一撃ある馬袋義則(兵庫)、三浦敬太(東京)もV争いに加わる。

地元岡村が遠征勢を抑え込む!

地元は岡村慶太(福岡)が好調モードで、当地は今年4戦して2優出している。強豪遠征勢を抑えて、当地V10に狙いを定める。

捲り勝ちが増加と最近積極的な松崎祐太郎(福岡)と、前回お盆戦で優出した山一鉄也(福岡)も地元で気迫を見せる。

Table with columns: 登録番号, 選手名, 級別, 支部, 年齢, ワンポイントチェック, 全国6ヵ月, (1着時決まり手回数), 芦屋3年. Rows include 江口 晃生, 上田 隆章, 大平 智明, etc.

アシ夢の応援レーサー 5216 長谷川晴哉 (A2・群馬・24歳) 4月平和島は恵まれてあったが、初優勝できたのは大きな意味がある。目標の椎名豊に追いつくべく、腕を磨いていく。
全国最近2節成績
24年9月 下関 一般競走 ①③⑤③⑥③④①⑤①①
24年9月 蒲郡 ルーキーS ④⑥②①⑤①②⑥⑤①⑥
芦屋前回成績
23年11月 ルーキーS ⑥④⑥④④②③①①

●病気などにより出場メンバーが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。